

本県工業用水道事業の概要

本県の工業用水道事業は、工業用水道事業法に基づき産業活動の血液ともいえる工業用水の安定供給を図るとともに、工業用水法に基づき地下水の過剰汲み上げによる地盤沈下を抑制するため、昭和34年から施設の建設を進め、昭和39年に給水を開始しました。

平成5年には基幹的施設が概ね完成したことから、現在は、日量約115万立方メートルの給水能力を有する施設の維持・管理を主として行っています。(給水能力から見ると千葉県の工業用水道事業の規模は全国で第5位です。)

近年、産業構造の変化等から多量の水を必要とする企業の進出が少ないことや企業の撤退等もあり、さらに景気が大きく後退し、企業の新たな設備投資が冷え込んだことなどから、料金収入の大幅な増加が見込めない状況にあります。一方で、水源開発費の負担と老朽化した施設の更新や「東日本大震災」等を教訓とする耐震強化対策などに多額の投資が必要となっており、今後の経営は依然として厳しい状況にあります。

平成20年3月に「第2次千葉県工業用水道事業長期ビジョン」(平成20年度～29年度)を策定し、併せて平成20年度から5年間に達成すべき当面の目標や行動計画を明らかにした「中期経営計画」(平成20年度～24年度)を策定し、安定給水と経営健全化に努めてきました。

また、長期ビジョンの後半部分に当たる、平成25年度から29年度までを計画期間とする「中期経営計画」を平成24年12月に策定しました。

この計画では、さらなる「安定給水」と「経営健全化」に向け、重点課題である施設更新、耐震化計画の策定や資金確保策等について、中期経営計画に関する懇談会や受水企業との地区意見交換会を開催し検討を進めることとしています。

1 事業の目的と経緯

(1) 産業基盤整備事業

道路、鉄道、港湾整備と同様に産業発展の基盤として整備 () は工期
五井市原地区(昭和34年～39年) 五井姉崎地区(昭和37年～45年)
千葉地区 (昭和42～49年) 木更津南部地区(昭和42年～平成元年)
房総臨海地区(昭和45年～平成18年(茂原拡張)) 北総地区(平成4～5年)

(2) 地盤沈下対策事業

工業の発展に伴い、地下水の過剰汲み上げにより地盤沈下が生じ、深刻化したため、地下水の代替水源として整備 () は工期

葛南地区(昭和41年～46年) 東葛地区(昭和47年～平成5年)

※経営の安定化・効率化を図るため、平成16年4月に葛南地区と東葛地区の統合

2 地区事業の概要

次頁「千葉県工業用水道事業一覧表」のとおり

3 配水能力と契約率等

項 目	19	20	21	22	23	24
配水能力 (A) (m ³ /日)	1,150,560	1,150,560	1,150,560	1,150,560	1,150,560	1,150,560
契約水量 (B) (m ³ /日)	1,098,736	1,096,356	1,095,466	1,091,416	1,087,003	1,086,454
1日最大配水量 (C) (m ³ /日)	895,882	886,831	869,493	871,289	829,888	831,778
1日平均配水量 (D) (m ³ /日)	838,871	795,201	779,802	786,229	764,449	767,980
契約率 (B/A) (%)	95.50	95.29	95.21	94.86	94.48	94.43
施設最大稼働率 (C/A) (%)	77.86	77.08	75.57	75.73	72.13	72.29
施設利用率 (D/A) (%)	72.91	69.11	67.78	68.33	66.44	66.75

4 工業用水道基本料金の推移

(単位：円/m³)

改定年月日 (給水開始年月)	東葛・葛南		千葉	五井 市原	五井 姉崎	房総 臨海	木更津 南部	北総
	旧東葛	旧葛南						
(S39.4)				4.00				
(S42.3)					5.50			
(S44.4)							5.00	
(S45.10)		5.50						
(S46.4)			7.00					
S49.4		12.00	13.50	9.00	9.00		11.50	
S52.4		22.50	18.50	16.00	14.50		19.00	
(S56.10)	36.00							
S61.4			20.00	19.50	17.50		24.00	
(S61.4)						53.00		
(H 5.9)								45.00
H 8.1	41.00	32.50						
H13.1		38.50						
H14.4			23.00					
H16.1		41.00						
(H16.4)	41.00							
現行料金	41.00		23.00	19.50	17.50	53.00	24.00	45.00

注1 料金は消費税抜きの表示。

注2 現在、基本料金のほかに房総臨海地区で経営負担金（34円/m³）の負担がある。

千葉県工業用水道事業一覧表

(平成25年6月1日現在)

地区	給水区域	給水能力 ^{m³/日} (契約水量)	契約 企業 数	料金 等	給水開始	水 源 ^{m³/S}	主な施設
東葛・葛南	市川市、船橋市、松戸市及び習志野市の区域並びに千葉市の一部の区域	127,200 (105,215)	107	41.0	【東葛】 S56.10~(一部) H7.4~(全部) 【葛南】 S45.10~(一部) S46.4~(全部) 【統合】 H16.4~	北千葉導水路及び三郷放水路 0.59 利根川河口堰 0.60 霞ヶ浦導水 0.40 (合計 1.59)	江戸川の表流水を取り入れ、南八幡浄水場で処理
千葉	千葉市、市原市及び袖ヶ浦市の地先の海面に造成された土地の区域	121,200 (121,200)	25	23.0	S46.4~(全部)	利根川河口堰 0.64 湯西川ダム 0.19 八ッ場ダム 0.47 印旛沼 0.21 (合計 1.51)	印旛沼の表流水を取り入れ、印旛沼浄水場で処理
五井市原	市原市のうち八幡海岸通及び五井海岸通の区域	120,000 (116,810)	17	19.5	S39.4~(一部) S40.1~(全部)	山倉ダム 1.50	養老川の表流水を山倉ダムへ導水し、郡本浄水場で処理
五井姉崎	佐倉市の一部の区域並びに市原市のうち五井南海岸、千種海岸及び姉崎海岸の区域並びに市原市及び袖ヶ浦市の地先の海面に造成された土地の区域	401,760 (396,221)	33	17.5	S42.3~(一部) S45.4~(全部)	印旛沼開発 5.00	印旛沼の表流水を取り入れ、佐倉浄水場で処理
房総臨海	茂原市の区域並びに千葉市、木更津市、佐倉市、市原市及び袖ヶ浦市の一部の区域	172,800 (141,697)	69	53.0 34.0 (経営負担金)	S61.4~(一部)	川治ダム 1.311 霞ヶ浦開発 0.849 (合計 2.16)	利根川の表流水を長柄ダムへ導水し、袖ヶ浦浄水場で処理 一部は袖ヶ浦皿木分場で処理
木更津南部	木更津市並びに君津市及び富津市の一部の地先の海面に造成された土地の区域	206,000 (204,776)	17	24.0	S44.4~(一部) H2.4~(全部)	豊英ダム 1.06 郡ダム 1.24 小糸川総合運用 0.27 (合計 2.57)	小糸川及び湊川の表流水を取り入れ、人見浄水場で処理
北総	成田市並びに山武郡芝山町及び横芝光町の一部の区域	1,600 (535)	6	45.0	H5.9~(全部)	地下水 0.02	取水井5カ所 (空港南部3井、横芝2井)から取水
合計		1,150,560 (1,086,454)	274			14.35	

各地区の経営状況と資金確保策の検討について

地 区	経 営 状 況	資 金 確 保 策 等
東葛・葛南	累積資金残の赤字が続き、施設更新の費用が確保できない状況である。	施設の計画的な更新のため、料金改定等を含む資金確保策を検討する。
千 葉	今後、水源施設の維持管理費の増加等により累積資金残が赤字となり、その額が年々増加する見込みである。 施設更新の費用も確保できない状況である。	今後の維持管理費等の増加への対応や施設の計画的な更新のため、料金改定等を含む資金確保策を検討する。
五井市原	今後とも、安定した経営が維持できる見込みである。	郡本浄水場非常用発電機器の更新やコンクリート管の布設替等を実施する。
五井姉崎	累積資金残が徐々に減少する見込みで、平成30年度以降に予定している大規模な施設更新等の費用の確保について検討する必要がある。	施設の計画的な更新のため、料金改定等を含む資金確保策を検討する。
房総臨海	企業債償還金等の償還が進み、累積資金残が黒字で推移するなど、経営が改善してきている。	本計画期間の早い時期に、経営負担金の引下げを検討する。
木更津南部	今後とも、安定した経営が維持され、累積資金残は黒字で推移する。	多額の累積資金残が見込まれることから、本計画期間の早い時期に、料金の引下げを検討する。
北 総	累積資金残の活用により、当分の間、安定した経営が維持できる見込みである。	給水場の老朽化した計装設備機器の更新を実施する。

Ⅲ 経営状況及び今後の経営見通し

1 経営状況及び今後の経営見通し

経常利益は、黒字で推移していますが、今後、新たな水源施設の供用開始による維持管理費や減価償却費等の増加により、減少する見込みであり、累積資金残も、建設改良費等の増加により、減少する見込みです。

また、企業債残高等は、新規起債の抑制や他会計借入金の返済の進行により徐々に減少する見込みです。

なお、経常利益及び累積資金残は、地区別に見ると一部の地区は赤字ですが、全地区では黒字を維持する見込みです。

2 収支の見通し

(単位：百万円)

区 分		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
収益的 収 支	収 益	料金収入	10,690	11,559	10,626	10,578	10,518	10,487	10,472	10,487	10,442	10,427
		その他収入	2,162	2,427	2,038	1,966	2,749	1,876	1,859	1,861	1,856	1,854
		12,852	13,986	12,664	12,543	13,267	12,363	12,331	12,348	12,298	12,281	
	費 用	維持管理費	5,179	4,890	4,966	4,971	5,198	5,171	5,504	5,596	5,713	5,857
		減価償却費	4,339	4,271	4,430	4,405	4,435	4,424	4,745	4,706	4,538	4,504
		支払利息	1,553	1,271	1,063	926	785	748	638	609	560	593
		その他	9	10	143	68	416	60	80			
		11,079	10,442	10,602	10,370	10,834	10,403	10,967	10,911	10,811	10,954	
	経常損益	1,771	3,544	2,062	2,173	2,433	1,960	1,364	1,437	1,487	1,327	
	特別損益	44	50	187	101	42	42	42	26			
当年度純利益	1,816	3,595	2,250	2,275	2,475	2,002	1,406	1,463	1,487	1,327		
資本的 収 支	収 入	企業債	6,648	3,369	2,225	2,410	1,857	1,360	982	682	76	76
		国庫補助金	162	211	211	170	110	185	284	335	41	41
		その他	713	722	1,000	856	882	732	756	393		
		7,523	4,302	3,436	3,436	2,849	2,277	2,022	1,410	117	117	
	支 出	建設改良費	1,475	1,221	1,234	1,006	2,321	1,434	1,866	1,265	2,331	2,631
		貯水施設費	1,371	1,133	1,171	1,251	546	451	1,089	1,096	232	131
		企業債償還金等	12,608	7,443	6,332	6,831	9,421	8,362	6,231	4,812	4,668	3,935
		その他	73	30	46	28	209	89	9	15	8	2
		15,527	9,827	8,783	9,116	12,497	10,336	9,195	7,188	7,239	6,699	
	差 引	▲ 8,004	▲ 5,525	▲ 5,347	▲ 5,680	▲ 9,648	▲ 8,059	▲ 7,173	▲ 5,778	▲ 7,122	▲ 6,582	

3 資金収支の見通し

(単位：百万円)

項 目	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
収 入	21,230	17,861	16,785	16,685	16,944	15,300	15,014	14,396	13,033	13,008
支 出	23,103	16,174	15,498	14,997	20,117	16,786	15,928	13,912	14,007	13,627
単年度収支	▲ 1,873	1,687	1,286	1,687	▲ 3,173	▲ 1,486	▲ 914	484	▲ 974	▲ 619
累積資金残	12,988	14,675	15,960	17,648	14,475	12,989	12,075	12,559	11,585	10,966

4 企業債残高等の見通し

(単位：百万円)

種 類	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
企業債残高	47,185	45,738	44,212	42,852	40,769	37,999	34,971	31,742	28,055	25,105
年賦未払金残高	10,761	10,880	8,734	6,657	4,859	3,236	2,534	2,343	2,147	1,947
他会計借入金残高	38,842	38,490	38,123	37,208	33,588	31,038	29,544	28,844	28,144	27,444

注：上記2から4の数値の設定条件

20～23年度は決算、24年度以降は予測値、料金は現行維持

(1) 東葛・葛南地区工業用水道

ア 経営状況及び今後の経営見通し

① 経営状況及び今後の経営見通しについて

施設能力127,200m³/日に対して契約水量は105,209m³/日、未売水は、21,991m³/日となっており、企業の撤退による契約水量の減少及び経営負担金の廃止により、収益は減少しますが、経常利益は減価償却費の減少等により若干改善されます。

また、企業債償還金等の支出が続くことから、累積資金残は赤字が続き、大変厳しい経営状況です。

② 収支の推移及び見通し

(単位：百万円)

区 分		22	23	24	25	26	27	28	29	
収益的 収支	収益	料金収入	1,657	1,603	1,581	1,562	1,547	1,536	1,517	1,502
		その他収入	190	110	550	34	23	21	19	18
		1,847	1,713	2,131	1,596	1,570	1,557	1,536	1,520	
	費用	維持管理費	726	728	736	723	721	726	731	737
		減価償却費	639	601	559	570	589	627	541	536
		支払利息	103	93	82	72	61	52	55	45
		その他	5	5	416	60	80			
	1,473	1,427	1,793	1,425	1,451	1,405	1,327	1,318		
経常損益	374	285	338	171	119	152	209	202		
特別損益	▲4	▲1								
当年度純利益	371	285	338	171	119	152	209	202		
資本的 収支	収入	企業債				76	76	76	76	
		国庫補助金				41	41	41	41	
		その他		6	171	21	45			
			6	171	21	162	117	117	117	
	支出	建設改良費	134	222	1,037	100	223	100	60	78
		貯水施設費	23	21	19	18	134	133	132	131
		企業債償還金等	722	705	605	662	539	497	432	350
		その他	1		108	2		2	2	2
		880	948	1,769	782	896	732	626	561	
	差 引	▲880	▲942	▲1,598	▲761	▲734	▲615	▲509	▲444	

③ 資金収支の推移及び見通し

(単位：百万円)

項 目	22	23	24	25	26	27	28	29
収 入	1,955	1,794	2,403	1,698	1,813	1,752	1,731	1,713
支 出	1,808	1,762	2,945	1,697	1,824	1,576	1,479	1,409
単年度収支	148	32	▲542	1	▲11	176	252	304
累積資金残	▲797	▲765	▲1,307	▲1,306	▲1,317	▲1,141	▲889	▲585

④ 企業債残高等の推移及び見通し

(単位：百万円)

種 類	22	23	24	25	26	27	28	29
企業債残高	5,502	4,797	4,192	3,530	3,067	2,646	2,290	2,016

注：上記②から④の数値の設定条件

22,23年度は決算、24年度以降は予測値、料金は現行維持

(2) 千葉地区工業用水道

ア 経営状況及び今後の経営見通し

① 経営状況及び今後の経営見通しについて

給水能力121,200m³/日に対して全量契約済みであることから料金収入は一定していますが、今後は、水源施設の減価償却費、支払利息、維持管理費等の増加により、経常利益は減少し、赤字に転じる見込みです。

累積資金残も、企業債償還金等が増加することから、今後は赤字となり、赤字額は年々増加する見込みです。

② 収支の推移及び見通し

(単位：百万円)

区 分		22	23	24	25	26	27	28	29	
収益的 収支	収益	料金収入	1,017	1,020	1,017	1,017	1,017	1,020	1,017	1,017
		その他収入	2	2	12	2	2	2	2	1
			1,019	1,022	1,029	1,019	1,019	1,022	1,019	1,018
	費用	維持管理費	481	471	490	496	556	560	570	589
		減価償却費	161	163	161	162	318	320	320	321
		支払利息	51	48	45	137	129	120	111	198
		その他	6	3						
			699	685	696	795	1,003	1,000	1,001	1,108
	経常損益	321	338	333	224	16	22	18	▲ 90	
	特別損益	▲ 2								
当年度純利益	319	338	333	224	16	22	18	▲ 90		
資本的 収支	収入	企業債	799	843	259	268	606	606		
		国庫補助金	119	157	41	41	113	113		
		その他								
			918	1,000	300	309	719	719		
	支出	建設改良費	144	22	64	108	142	21	17	11
		貯水施設費	1,148	1,230	527	433	955	963	100	
		企業債償還金等	329	365	408	450	491	521	552	590
		その他	7	13	67	82	2	6	6	
			1,628	1,630	1,066	1,073	1,590	1,511	675	601
	差 引	▲ 710	▲ 630	▲ 766	▲ 764	▲ 871	▲ 792	▲ 675	▲ 601	

③ 資金収支の推移及び見通し

(単位：百万円)

項 目	22	23	24	25	26	27	28	29
収 入	1,971	2,054	1,472	1,379	1,789	1,791	1,070	1,069
支 出	2,276	2,116	1,697	1,729	2,284	2,197	1,395	1,436
単年度収支	▲ 305	▲ 62	▲ 225	▲ 350	▲ 495	▲ 406	▲ 325	▲ 367
累積資金残	579	517	292	▲ 58	▲ 553	▲ 959	▲ 1,284	▲ 1,651

④ 企業債残高等の推移及び見通し

(単位：百万円)

種 類	22	23	24	25	26	27	28	29
企業債残高	10,013	10,510	10,380	10,217	10,352	10,457	9,925	9,356
年賦未払金残高	448	431	412	394	375	356	336	316

注：上記②から④の数値の設定条件

22,23年度は決算、24年度以降は予測値、料金は現行維持

(3) 五井市原地区工業用水道

ア 経営状況及び今後の経営見通し

① 経営状況及び今後の経営見通しについて

給水能力120,000m³/日に対して契約水量は117,650m³/日で、料金収入は安定しており、経常利益は、黒字で推移します。

累積資金残も、黒字で推移し、今後も、累積資金を活用した施設更新が可能で安定した経営が維持できる見込みです。

② 収支の推移及び見通し

(単位：百万円)

区 分		22	23	24	25	26	27	28	29	
収益的 収 支	収 益	料金収入	843	839	837	837	837	840	837	837
		その他収入	14	13	14	14	14	13	14	14
			857	852	851	851	851	853	851	851
	費 用	維持管理費	393	399	414	396	394	395	431	432
		減価償却費	301	301	301	301	306	298	296	286
		支払利息	81	77	75	71	67	63	60	56
		その他	1	1						
			776	778	790	768	767	756	787	774
		経常損益	81	74	61	83	84	97	64	77
		特別損益		28						
	当年度純利益	81	102	61	83	84	97	64	77	
資本的 収 支	収 入	企業債								
		国庫補助金								
		その他		1						
			1							
	支 出	建設改良費	3	10	30	137		1	536	557
		貯水施設費								
		企業債償還金等	239	264	244	213	214	211	215	218
		その他	8		1					
			250	274	275	350	214	212	751	775
		差 引	▲ 250	▲ 273	▲ 275	▲ 350	▲ 214	▲ 212	▲ 751	▲ 775

③ 資金収支の推移及び見通し

(単位：百万円)

項 目	22	23	24	25	26	27	28	29
収 入	901	923	897	893	893	895	893	893
支 出	750	753	881	850	716	712	1,264	1,278
単年度収支	150	170	16	43	177	183	▲ 371	▲ 385
累積資金残	2,406	2,576	2,592	2,635	2,812	2,995	2,624	2,239

④ 企業債残高等の推移及び見通し

(単位：百万円)

種 類	22	23	24	25	26	27	28	29
企業債残高	4,372	4,108	3,864	3,651	3,437	3,226	3,011	2,793

注：上記②から④の数値の設定条件

22,23年度は決算、24年度以降は予測値、料金は現行維持

(4) 五井姉崎地区工業用水道

ア 経営状況及び今後の経営見通し

① 経営状況及び今後の経営見通しについて

給水能力401,760 m³/日に対して契約水量は396,221 m³/日で、料金収入は安定しています。経常利益は、今後、減価償却費の増加で減少しますが、平成28年度から改善される見込みです。

累積資金残は、建設改良費や企業債償還金等の支出により、徐々に減少する見込みです。

② 収支の推移及び見通し

(単位：百万円)

区 分		22	23	24	25	26	27	28	29	
収益的 収支	収益	料金収入	2,530	2,538	2,531	2,531	2,531	2,538	2,531	2,531
		その他収入	15	14	29	14	14	13	13	13
			2,545	2,552	2,560	2,545	2,545	2,551	2,544	2,544
	費用	維持管理費	1,424	1,424	1,498	1,442	1,434	1,440	1,407	1,414
		減価償却費	731	711	789	781	909	860	776	750
		支払利息	264	262	247	230	213	240	222	203
		その他	53	11						
			2,472	2,408	2,534	2,453	2,556	2,540	2,405	2,367
	経常損益	73	144	26	92	▲ 11	11	139	177	
	特別損益									
当年度純利益	73	144	26	92	▲ 11	11	139	177		
資本的 収支	収入	企業債	237	334	506					
		国庫補助金	92	13	69	144	130	181		
		その他	269							
		598	347	575	144	130	181			
	支出	建設改良費	866	611	994	838	1,382	779	255	255
		貯水施設費								
		企業債償還金等	720	747	773	763	771	764	774	802
		その他	12	5	8	3	7	7		
		1,598	1,363	1,775	1,604	2,160	1,550	1,029	1,057	
	差 引	▲ 1,000	▲ 1,016	▲ 1,200	▲ 1,460	▲ 2,030	▲ 1,369	▲ 1,029	▲ 1,057	

③ 資金収支の推移及び見通し

(単位：百万円)

項 目	22	23	24	25	26	27	28	29
収 入	3,270	3,027	3,274	2,815	2,801	2,858	2,672	2,670
支 出	3,369	2,859	4,014	3,346	3,872	3,310	2,763	2,786
単年度収支	▲ 100	167	▲ 740	▲ 531	▲ 1,071	▲ 452	▲ 91	▲ 116
累積資金残	4,108	4,276	3,536	3,005	1,934	1,482	1,391	1,275

④ 企業債残高等の推移及び見通し

(単位：百万円)

種 類	22	23	24	25	26	27	28	29
企業債残高	11,591	11,249	11,055	10,366	9,670	8,983	8,287	7,564
年賦未払金残高	1,704	1,636	1,567	1,496	1,425	1,352	1,278	1,202

注：上記②から④の数値の設定条件

22,23年度は決算、24年度以降は予測値、料金は現行維持

(5) 房総臨海地区工業用水道

ア 経営状況及び今後の経営見通し

① 経営状況及び今後の経営見通しについて

給水能力172,800 m³/日に対して契約水量は141,488 m³/日であり、31,312 m³/日の未売水を抱えており、新規の大幅な売水が期待できない状況が続いています。経常利益は、水源施設の更新費用等による維持管理費の増加が見込まれますが、黒字は維持します。また、累積資金残は、企業債償還金等の償還が進み、黒字で推移する見込みです。

② 収支の推移及び見通し

(単位：百万円)

区 分		22	23	24	25	26	27	28	29	
収益的 収支	収益	料金収入	2,777	2,771	2,743	2,738	2,738	2,746	2,738	2,738
		その他収入	1,770	1,774	1,917	1,766	1,760	1,765	1,761	1,761
		4,547	4,545	4,660	4,504	4,498	4,511	4,499	4,499	
	費用	維持管理費	917	967	1,061	1,127	1,431	1,504	1,617	1,724
		減価償却費	2,027	2,058	2,056	2,041	2,047	2,026	2,036	2,048
		支払利息	432	322	220	130	68	43	29	17
		その他	78	36						
		3,454	3,383	3,337	3,298	3,546	3,573	3,682	3,789	
	経常損益	1,092	1,162	1,323	1,206	952	938	817	710	
	特別損益	220	42	42	42	42	26			
当年度純利益	1,312	1,204	1,365	1,248	994	964	817	710		
資本的 収支	収入	企業債	1,189	1,233	1,092	1,092	300			
		国庫補助金								
		その他	731	830	711	711	711	393		
		1,920	2,063	1,803	1,803	1,011	393			
	支出	建設改良費	87	117	127	70	69	304	353	289
		貯水施設費								
		企業債償還金等	3,987	4,407	7,040	5,915	3,856	2,451	2,319	1,595
		その他	18	10	13	2				
	4,092	4,534	7,180	5,987	3,925	2,755	2,672	1,884		
差 引	▲ 2,172	▲ 2,471	▲ 5,377	▲ 4,184	▲ 2,914	▲ 2,362	▲ 2,672	▲ 1,884		

③ 資金収支の推移及び見通し

(単位：百万円)

項 目	22	23	24	25	26	27	28	29
収 入	6,747	6,880	6,762	6,575	5,778	5,155	4,726	4,723
支 出	5,765	5,966	8,751	7,452	5,667	4,537	4,530	3,834
単年度収支	982	914	▲ 1,989	▲ 877	111	618	196	889
累積資金残	3,960	4,874	2,885	2,008	2,119	2,737	2,933	3,822

④ 企業債残高等の推移及び見通し

(単位：百万円)

種 類	22	23	24	25	26	27	28	29
企業債残高	6,916	6,714	6,153	5,469	4,039	2,392	880	94
年賦未払金残高	6,582	4,590	2,880	1,346	734	635	533	429
他会計借入金残高	38,123	37,208	33,588	31,038	29,544	28,844	28,144	27,444

注：上記②から④の数値の設定条件

22,23年度は決算、24年度以降は予測値、料金は現行維持

(6) 木更津南部地区工業用水道

ア 経営状況及び今後の経営見通し

① 経営状況及び今後の経営見通しについて

給水能力206,000m³/日に対して204,700m³/日であり、未売水1,300m³/日についても、富津地区工業用地への企業立地により解消していくものと見込んでいます。

経常利益及び累積資金残は黒字で推移し、安定した経営を維持しています。

② 収支の推移及び見通し

(単位：百万円)

区 分		22	23	24	25	26	27	28	29	
収益的 収 支	収 益	料金収入	1,793	1,798	1,800	1,793	1,793	1,798	1,793	1,793
		その他収入	46	51	45	46	46	47	47	47
		1,839	1,849	1,845	1,839	1,839	1,845	1,840	1,840	
	費 用	維持管理費	1,016	973	983	976	957	960	946	950
		減価償却費	570	570	568	568	575	574	568	562
		支払利息	132	124	116	108	100	91	83	74
		その他		12						
		1,718	1,679	1,667	1,652	1,632	1,625	1,597	1,586	
	経常損益	121	170	178	187	207	220	243	254	
	特別損益	▲ 27	32							
当年度純利益	94	202	178	187	207	220	243	254		
資本的 収 支	収 入	企業債								
		国庫補助金								
		その他		19						
			19							
	支 出	建設改良費		24	68	180	50	60	1,080	1,421
		貯水施設費								
		企業債償還金等	335	343	351	359	360	368	376	380
		その他			12					
		335	367	431	539	410	428	1,456	1,801	
	差 引	▲ 335	▲ 348	▲ 431	▲ 539	▲ 410	▲ 428	▲ 1,456	▲ 1,801	

③ 資金収支の推移及び見通し

(単位：百万円)

項 目	22	23	24	25	26	27	28	29
収 入	1,931	1,996	1,945	1,931	1,931	1,936	1,932	1,931
支 出	1,521	1,531	1,812	1,700	1,554	1,569	2,536	2,854
単年度収支	410	465	133	231	377	367	▲ 604	▲ 923
累積資金残	5,591	6,056	6,189	6,420	6,797	7,164	6,560	5,637

④ 企業債残高等の推移及び見通し

(単位：百万円)

種 類	22	23	24	25	26	27	28	29
企業債残高	5,818	5,475	5,125	4,766	4,406	4,038	3,662	3,282

注：上記②から④の数値の設定条件

22,23年度は決算、24年度以降は予測値、料金は現行維持

(7) 北総地区工業用水道

ア 経営状況及び今後の経営見通し

① 経営状況及び今後の経営見通しについて

給水区域内の工業団地の分譲が終了し、給水能力1,600m³/日に対し契約水量は535m³/日にとどまり、1,065m³/日が未売水となっています。

毎年、経常利益の赤字が見込まれますが、累積資金残の活用により、当分の間、安定した経営が維持できる見込みです。

② 収支の推移及び見通し

(単位：百万円)

区 分		22	23	24	25	26	27	28	29
収益的 収 支	収 益	料金収入	9	9	9	9	9	9	9
		その他収入	1	1	182				
			10	10	191	9	9	9	9
	費 用	維持管理費	9	9	16	11	11	11	11
		減価償却費	1	1	1	1	1	1	1
		支払利息							
		その他							
			10	10	17	12	12	12	12
	経常損益			174	▲ 3	▲ 3	▲ 3	▲ 3	▲ 3
	特別損益								
当年度純利益			174	▲ 3	▲ 3	▲ 3	▲ 3	▲ 3	
資本的 収 支	収 入	企業債							
		国庫補助金							
		その他							
	支 出	建設改良費			1	1		30	20
		貯水施設費							
		企業債償還金等							
		その他							
			1	1		30	20		
差 引			▲ 1	▲ 1		▲ 30	▲ 20		

③ 資金収支の推移及び見通し

(単位：百万円)

項 目	22	23	24	25	26	27	28	29
収 入	10	11	191	9	9	9	9	9
支 出	9	10	17	12	11	11	40	30
単年度収支	1	1	174	▲ 3	▲ 2	▲ 2	▲ 31	▲ 21
累積資金残	113	114	288	285	283	281	250	229

注：上記②から③の数値の設定条件

22,23年度は決算、24年度以降は予測値、料金は現行維持